

Leap Beyond ~成長軌道へ回帰~

個人投資家向け 会社説明会

2025年12月2日
住友化学株式会社
証券コード：4005
(東京証券取引所プライム市場)

01

会社概要

02

中期経営計画の概要

03

当社の勝ち筋事業

04

終わりに

Leap Beyond ~成長軌道へ回帰~

01

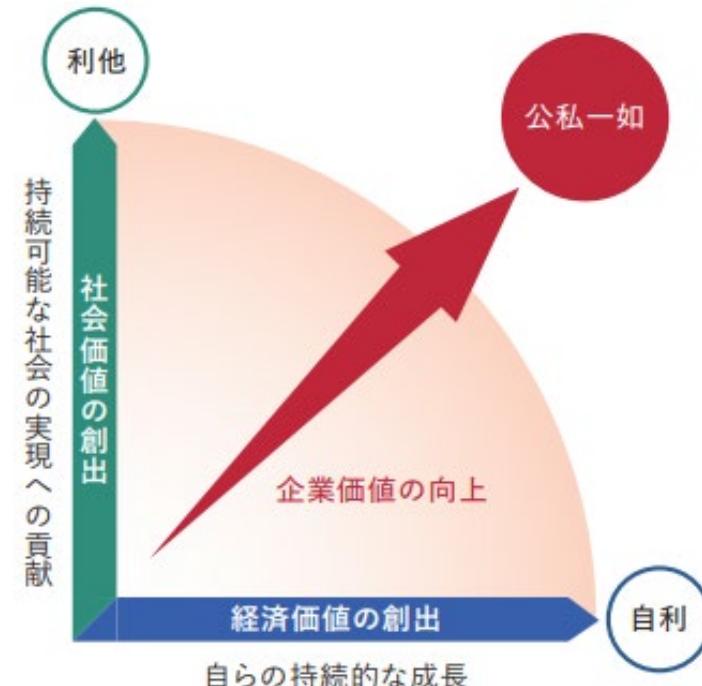
会社概要

住友の事業精神

事業は自ら利益を得るものであるとともに、社会に対しても利益あるものでなければならない

自利利他 公私一如

(じりりた こうしいちにょ)



住友化学の始まり

1913年、銅の製錬による煙害の防止を目的にした肥料の製造から事業の歩みを開始しました。環境問題の克服と農産物の増産を両立させる取り組みを起源とする当社には、住友の事業精神が深く根付いています。





社長

水戸 信彰

本社

東京本社（東京都中央区）
大阪本社（大阪市中央区）

創業

1913年

従業員*

29,279人

関係会社*

連結子会社
持分法適用関連会社168社
26社

上場取引所

プライム市場
(証券コード：4005)

業態

化学

業績*(連結)

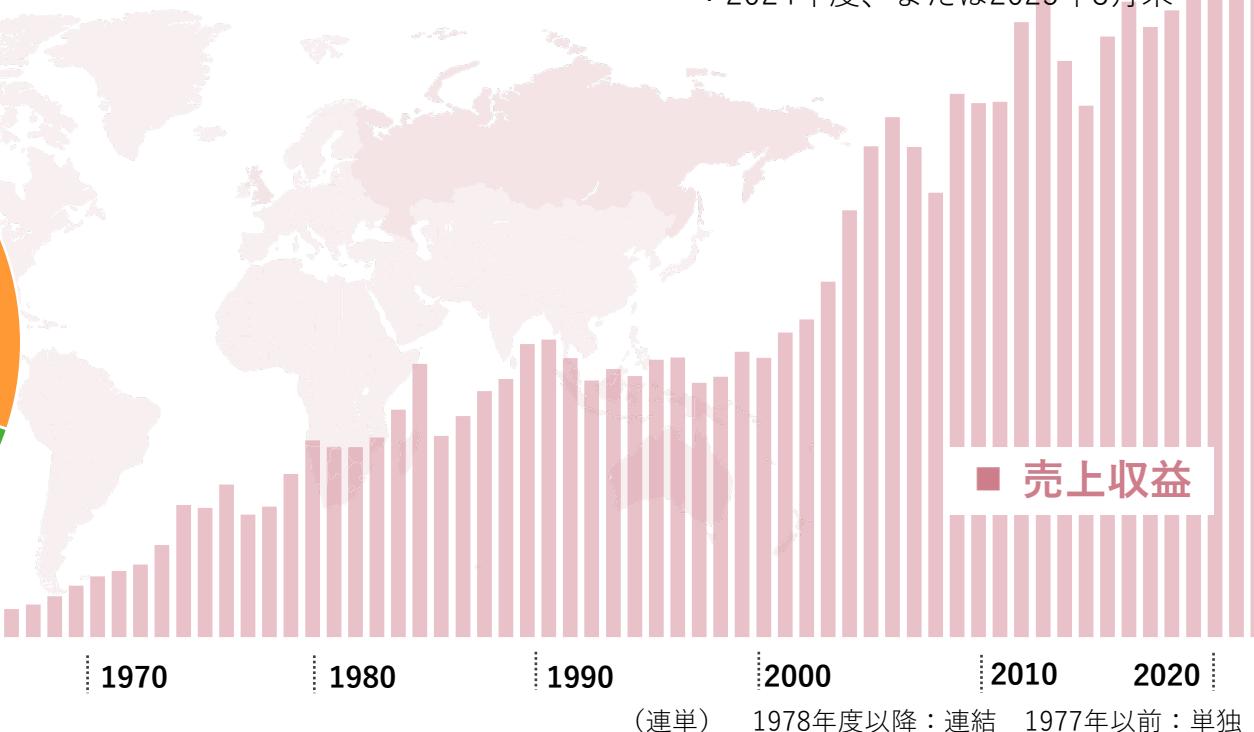
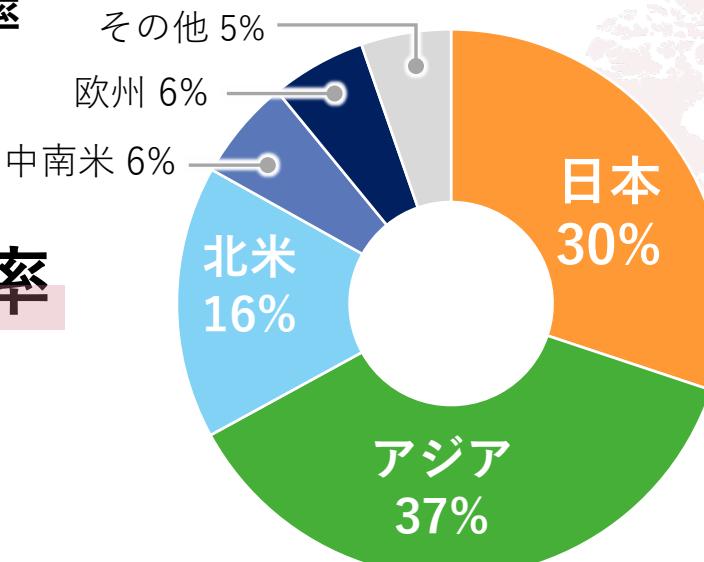
売上収益 26,063億円
コア営業利益 1,405億円
最終利益 386億円

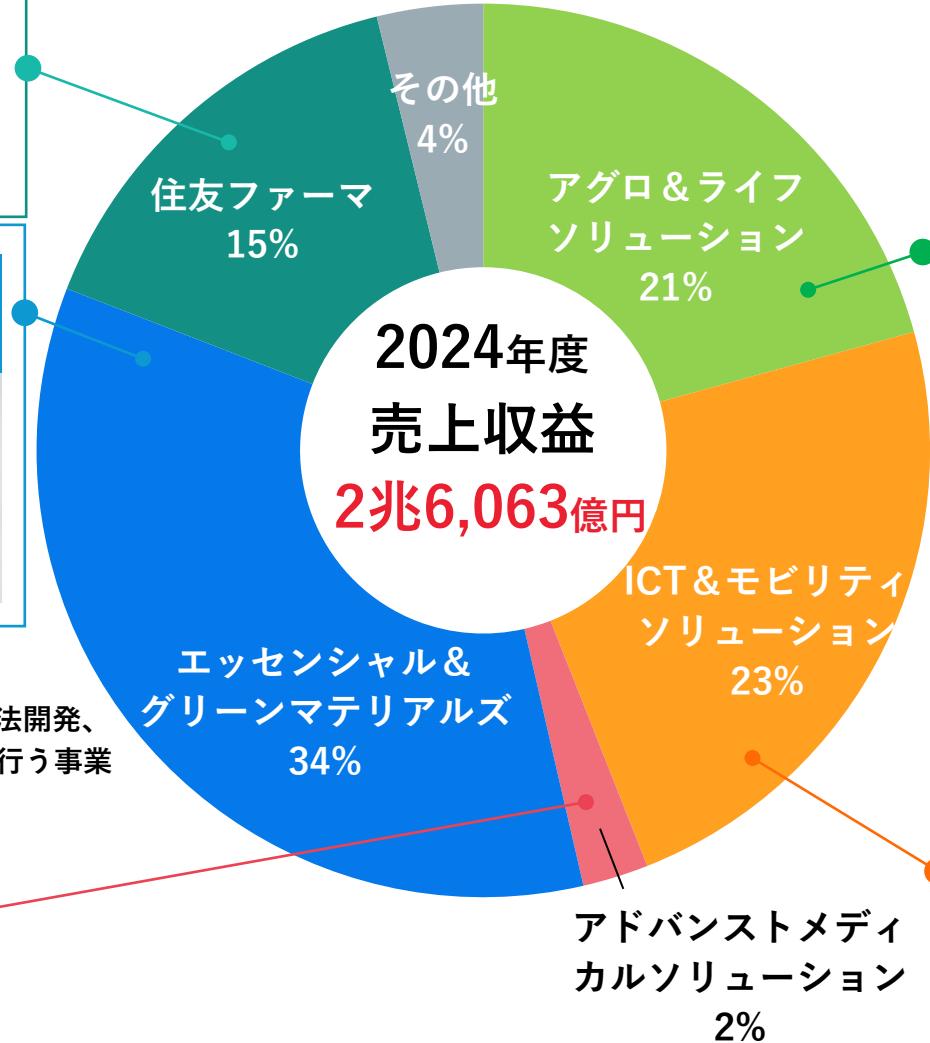
地域別売上収益比率

2024年度

海外売上比率

69.9%

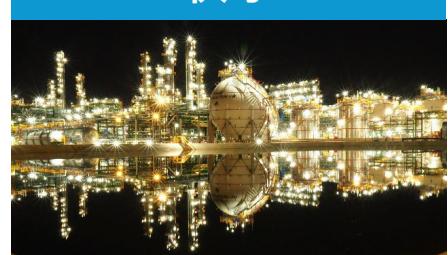




医療用医薬品



技術ライセンス供与



多様な石油化学製品



医薬品CDMO*



*医薬品等の製法開発、
製造受託等を行う事業

農業用殺菌剤・殺虫剤



飼料添加物



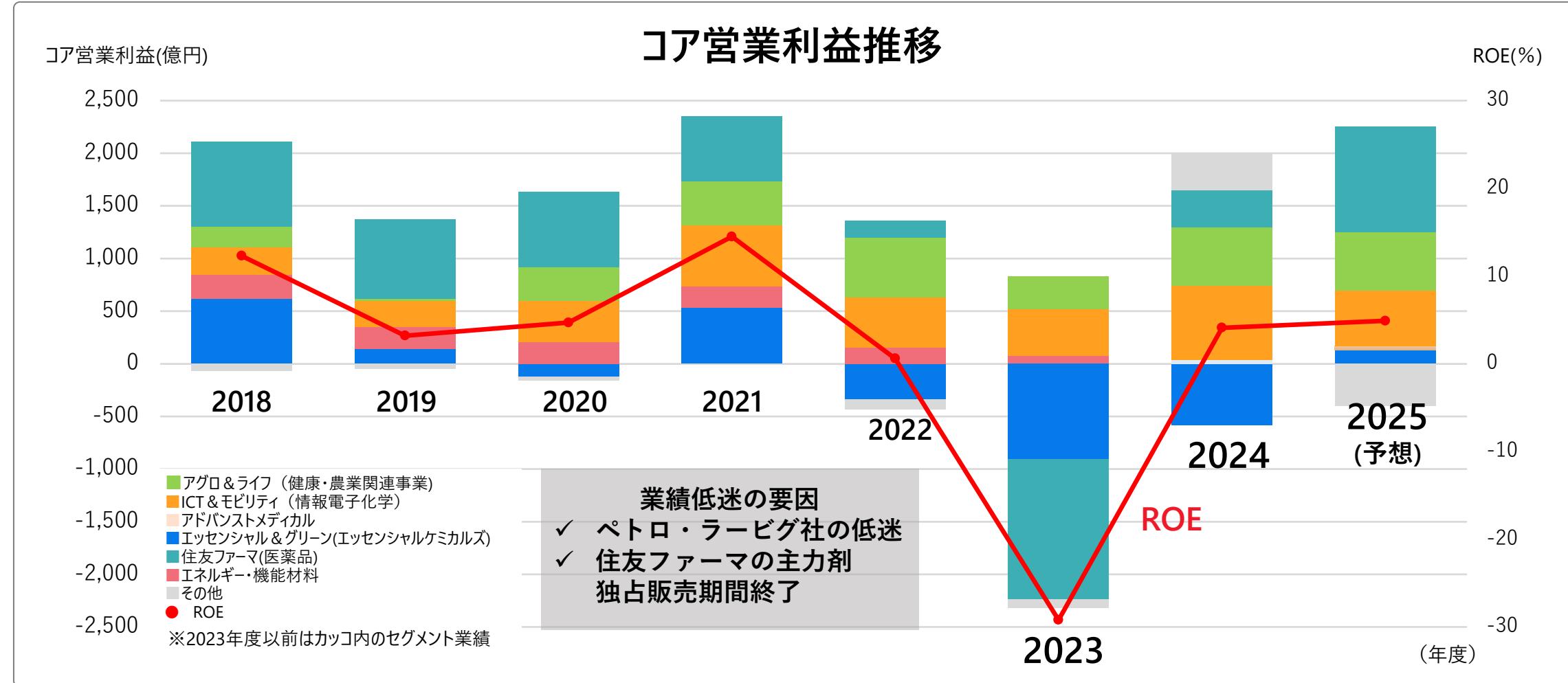
半導体材料



ディスプレイ関連部材



石油化学、医薬品を中心に業績が低迷したが、
短期集中業績改善策、抜本的構造改革により2024年度はV字回復を達成



Leap Beyond ~ 成長軌道へ回帰 ~

02

中期経営計画の概要

スローガン

Leap Beyond ~成長軌道へ回帰~今中期のフェーズで
目指す姿

成長軌道へ回帰、更なる成長への道筋を示す

2027年度
財務目標コア営業利益
2,000億円ROE
8%ROIC
6%D/Eレシオ
0.8倍台基本方針
01新成長戦略による
事業ポートフォリオ高度化基本方針
03

財務・資本効率の改善

基本方針
05

新成長戦略を支える経営基盤の強化

基本方針
02構造改革の継続的な遂行による
強靭化基本方針
04

3つのXを基軸としたR&D戦略

人材

DX

ガバナンス

スローガン

Leap Beyond ~成長軌道へ回帰~今中期のフェーズで
目指す姿

成長軌道へ回帰、更なる成長への道筋を示す

2027年度
財務目標コア営業利益
2,000億円ROE
8%ROIC
6%D/Eレシオ
0.8倍台基本方針
01新成長戦略による
事業ポートフォリオ高度化基本方針
03

財務・資本効率の改善

基本方針
02構造改革の継続的な遂行による
強靭化基本方針
04

3つのXを基軸としたR&D戦略

基本方針
05

新成長戦略を支える経営基盤の強化

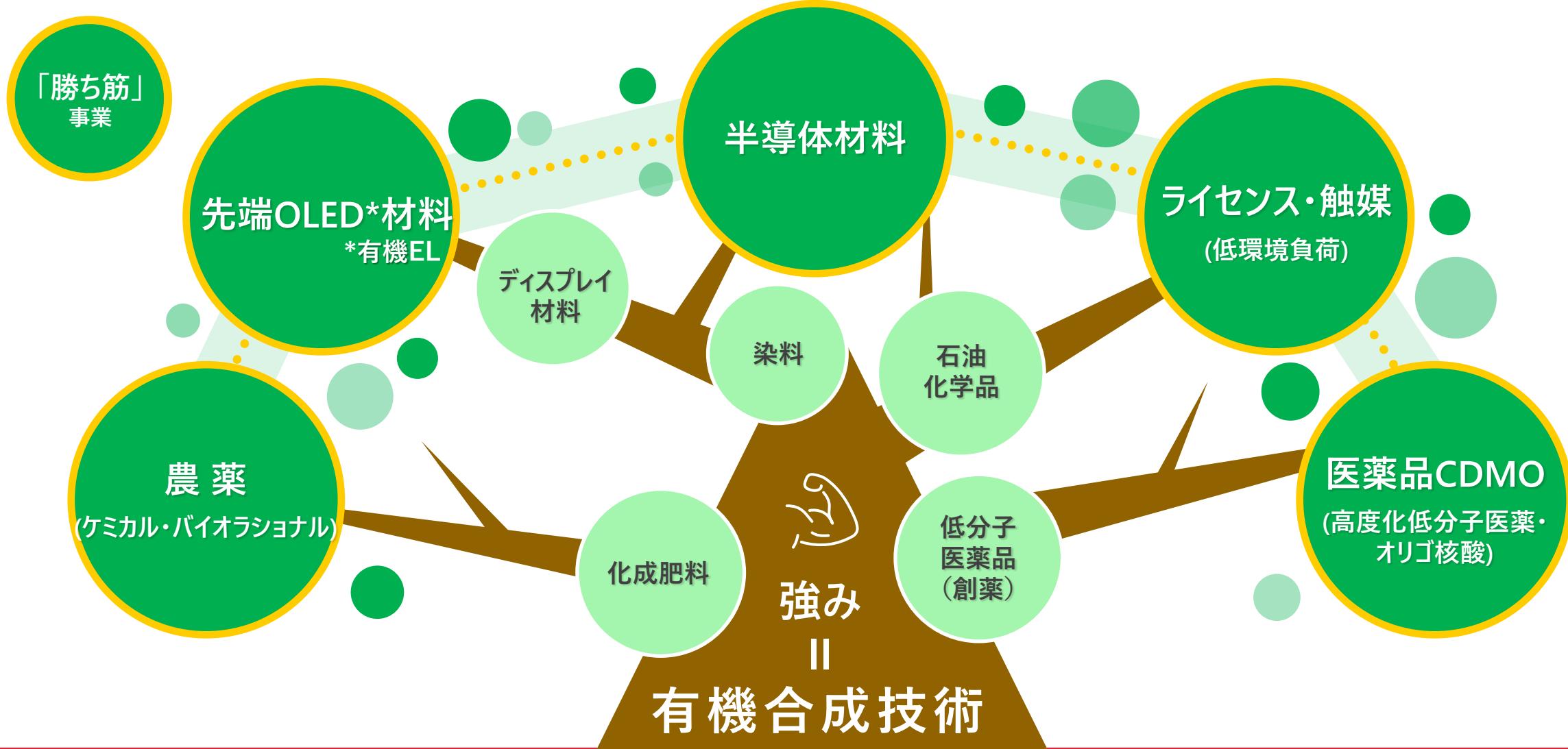
人材

DX

ガバナンス

当社の考える勝ち筋とは

当社の強みの有機合成技術をベースとした「勝ち筋」事業が、未来の成長を切り拓く原動力。



「勝ち筋」 事業への徹底的なこだわりにより、事業ポートフォリオ高度化を推進。

アグロ&ライフ
ソリューション

ICT&モビリティ
ソリューション

アドバンストメディカル
ソリューション

エッセンシャル&
グリーンマテリアルズ

農薬
(ケミカル・バイオラショナル)

半導体材料
先端OLED材料

医薬品CDMO
(高度化低分子医薬・
オリゴ核酸)
+
再生・細胞医薬

ライセンス・触媒
(低環境負荷事業)

「勝ち筋」 事業

複数の難課題に方向付け。残る課題は今中計期間で継続取組み。

住友ファーマ

止血策

基幹 3 製品

低分子医薬(創薬)
持続的成長に向けた再構築

ペトロ・ラービング

財務リストラ

収益改善策

石化再編

国内上流
(クラッカー)

国内下流
(ポリオレフィン)

シンガポール

…対応済

ROIC向上

2024年度

1.5%

2027年度

5.5%

収益力強化



投下資本適正化

事業ポートフォリオ高度化

⇒「勝ち筋」事業へ徹底的なこだわり

構造改革

⇒ペトロ・ラービング、住友ファーマ、国内/シンガポール石化再編

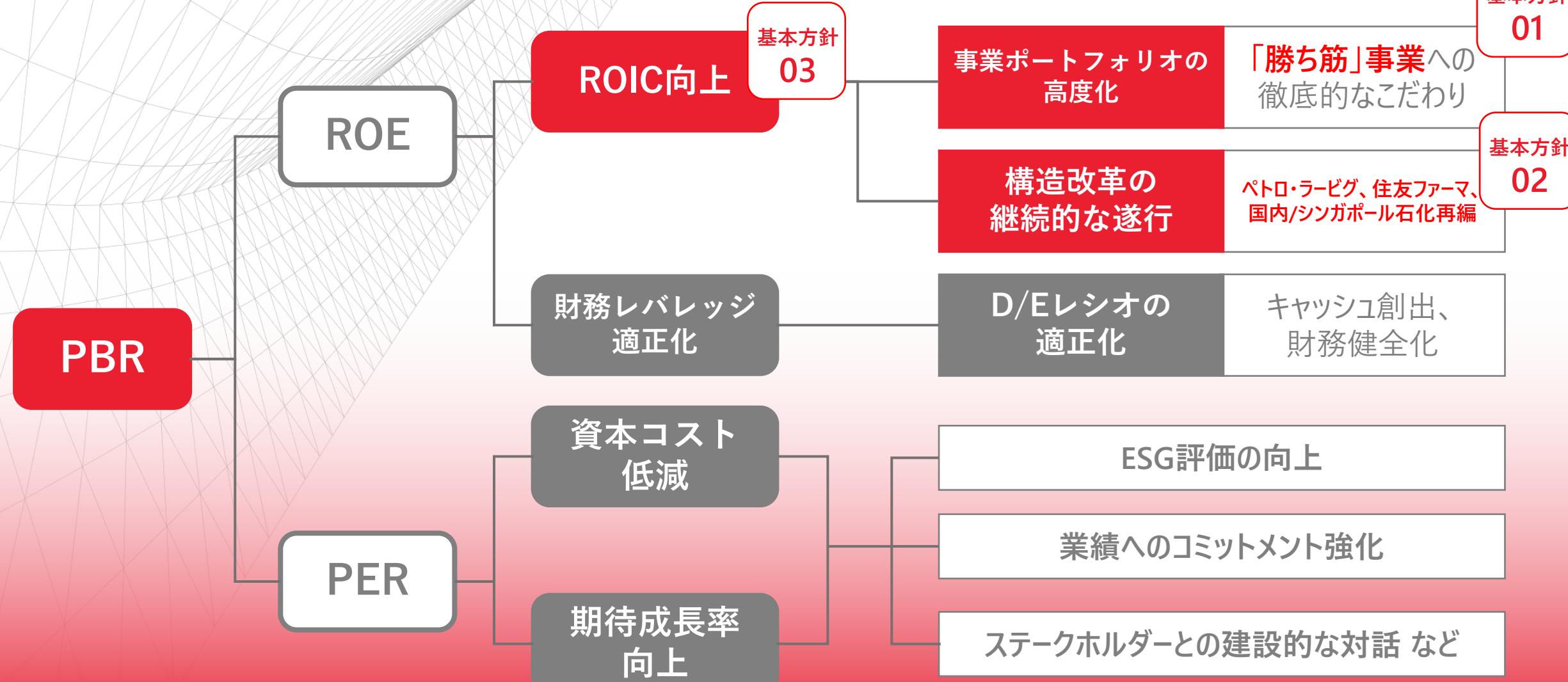
経営システム強化

事業ポートフォリオ審議会の新設

投資審議プロセス見直し

ガバナンス機関設計変更

資本効率の改善を継続し、中長期的な企業価値向上に取り組む



Leap Beyond ~ 成長軌道へ回帰 ~

03

当社の勝ち筋事業

「勝ち筋」 事業への徹底的なこだわりにより、事業ポートフォリオ高度化を推進。

アグロ&ライフ
ソリューション

ICT&モビリティ
ソリューション

アドバンストメディカル
ソリューション

エッセンシャル&
グリーンマテリアルズ

農薬
(ケミカル・バイオラショナル)

半導体材料
先端OLED材料

医薬品CDMO
(高度化低分子医薬・
オリゴ核酸)
+
再生・細胞医薬

ライセンス・触媒
(低環境負荷事業)

「勝ち筋」 事業

「勝ち筋」事業への徹底的なこだわりにより、事業ポートフォリオ高度化を推進。

アグロ&ライフ
ソリューション

ICT&モビリティ
ソリューション

アドバンストメディカル
ソリューション

エッセンシャル&
グリーンマテリアルズ

農薬
(ケミカル・バイオラショナル)

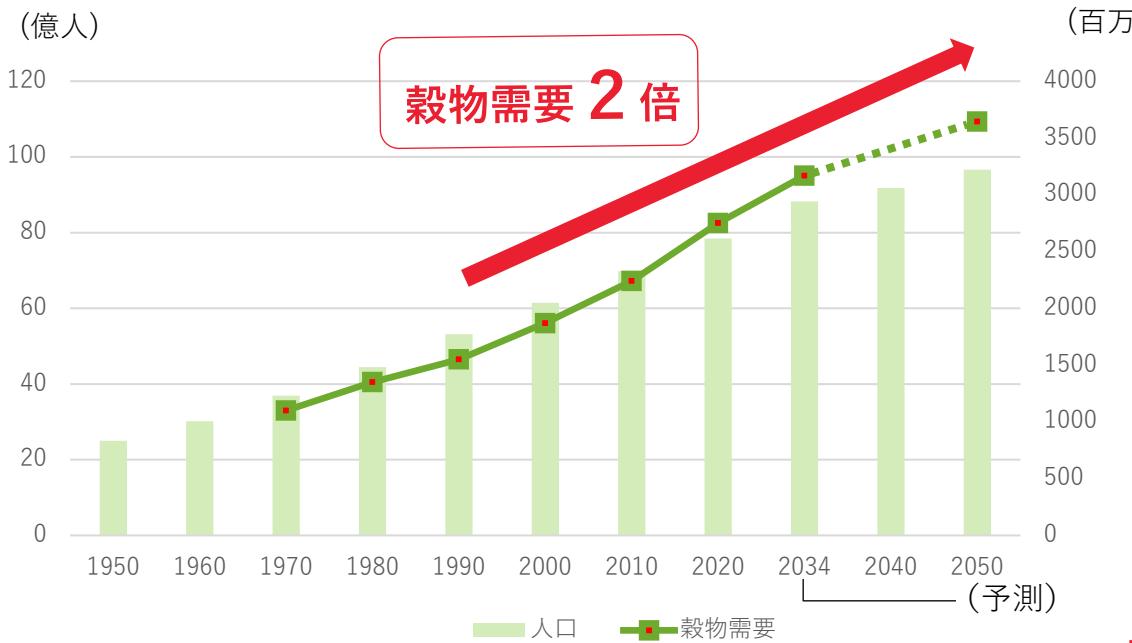
半導体材料
先端OLED材料

医薬品CDMO
(高度化低分子医薬・
オリゴ核酸)
+
再生・細胞医薬

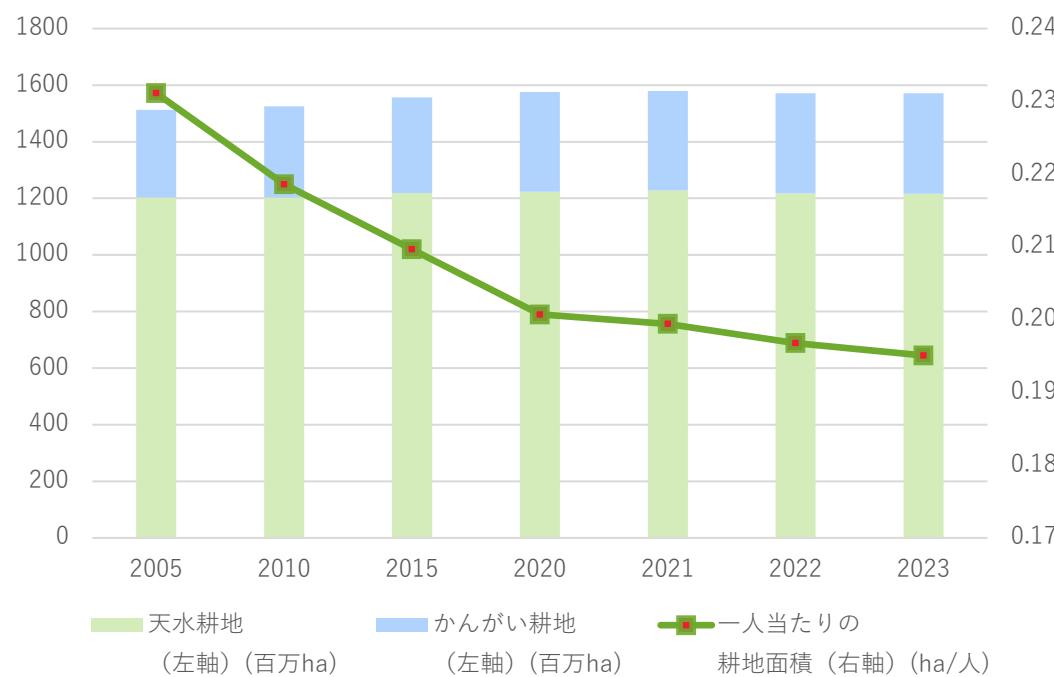
ライセンス・触媒
(低環境負荷事業)

「勝ち筋」事業

世界の人口と穀物需要



世界の耕地面積と一人当たり耕地面積



穀物需要の増加・耕地面積の減少に伴い、
効率的な農業が必須となり、農薬需要も増加傾向

現代農業からリジェネラティブ(再生可能)農業へ変化

対応すべき社会課題

カーボンニュートラル

生物多様性

食糧



■ リジェネラティブ農業 (化学農薬×バイオラショナル)

バイオラショナル（天然物由来）製品や環境負荷の低い化学農薬の使用により、
土壌の健康を修復・改善しつつGHG排出削減や生物多様性を維持向上する農業

化学農薬とバイオラショナル（天然物由来）の両輪で、農薬事業を推進。

化学農薬

成長を牽引する新規2剤

インディフリン®

ダイズさび病等の
殺菌剤

ラピディシル®

ダイズ、トウモロコシ用
除草剤

上記2剤を含む戦略製品群*で、
2030年に売上1,500億円レベルへ

*2020年以降上市製品（B2020、A2020）

バイオラショナル（天然物由来）

更なる事業拡大・グローバル機能強化

- ・サステナブルな農業意識の高まり
- ・需要家の安全・安心/品質要求



市場成長率 年10%以上

1,500億円

700億円

400億円

2021年

2024年

2027年

2030年

2030年度までに
さらに事業規模を
2倍へ

ラピディシル®

速効性などの特長を持つ除草剤の提供により、不耕起栽培の普及に貢献

特長

- ✓ 速効性の高い
非選択性除草剤
- ✓ 低薬量で効力発揮
- ✓ 不耕起栽培への適用

■ 不耕起栽培とは

作付前に圃場を耕さず、そのまま種をまいて農作物を育てる農法

不耕起栽培のメリット

- 農作業の省力化による燃料の削減
- 表土流失の抑制による水系生物多様性の保全

施用方法

播種前処理

(Preplant Burndown)

ラピディシルの処理前後の様子



処理前

処理3日後

作物播種前の雑草を防除

土壤保全等につながる**不耕起栽培へ適応**

リジェネラティブ(再生可能)農業への貢献

■ バイオラショナル製品－アブサップのご紹介



こちらから動画を
ご覧ください。



<https://youtu.be/pl4WkOJRMsU?si=2eAsckCX6UiYSIG>

「勝ち筋」 事業への徹底的なこだわりにより、事業ポートフォリオ高度化を推進。

アグロ&ライフ
ソリューション

ICT&モビリティ
ソリューション

アドバンストメディカル
ソリューション

エッセンシャル&
グリーンマテリアルズ

農薬
(ケミカル・バイオラショナル)

半導体材料
先端OLED材料

医薬品CDMO

(高度化低分子医薬・
オリゴ核酸)

+

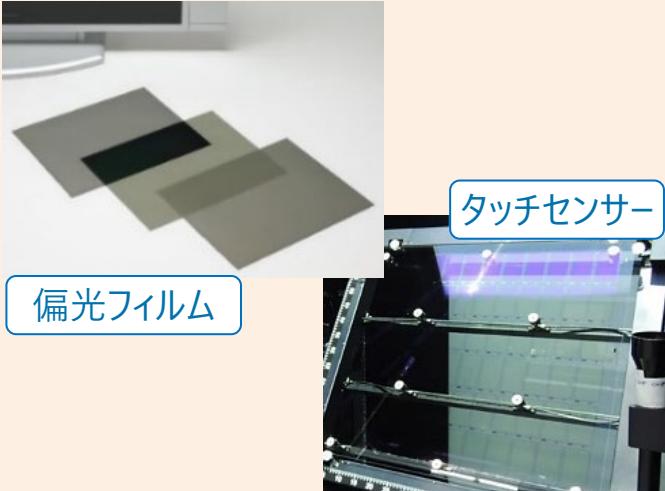
再生・細胞医薬

ライセンス・触媒
(低環境負荷事業)

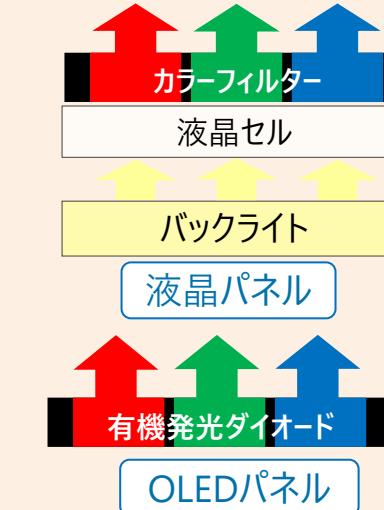
「勝ち筋」 事業

主要製品

ディスプレイ



当社顧客の製品



末端市場



半導体



メモリ半導体



半導体市場規模推移

1.7倍

高速・大容量化を支える
新技術・材料ニーズ

2024年度

2030年度

半導体市場環境

AI活用の拡大、自動運転・スマートモビリティ
普及等により、引き続き**安定的に成長。**
2030年にさらに巨大な市場に。

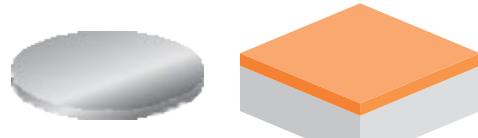
3次元化などの新技術の要求が強まり、
材料面の技術・ニーズが高度化、多様化

半導体製造工程と当社製品

前工程

基板洗浄／薄膜形成

ウェハ表面の汚れを除去し、酸化膜を形成

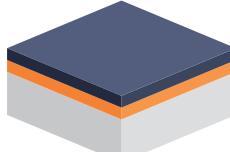


当社製品

高純度ケミカル

フォトレジスト塗布

ウェハ表面にフォトレジストを均一に塗布

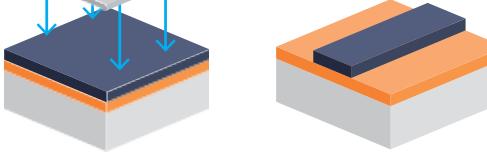


当社製品

フォトレジスト

露光／現像

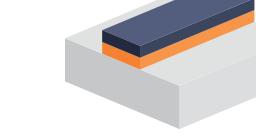
フォトマスクを通して光を照射
回路パターンを転写



現像液で不要な部分を除去

エッチング／レジスト剥離／洗浄

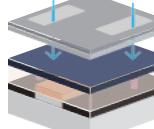
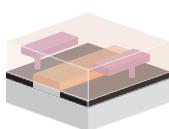
フォトレジストのパターンに沿って
不要な部分を除去



フォトレジストを除去／洗浄

当社製品

高純度ケミカル

層間絶縁層形成／フォトレジスト塗布／
パターン形成／洗浄／配線形成

当社製品

高純度ケミカル フォトレジスト

後工程

シリコンウェハから半導体チップ
を切り分け、パッケージング



工程を繰り返し
回路を形成

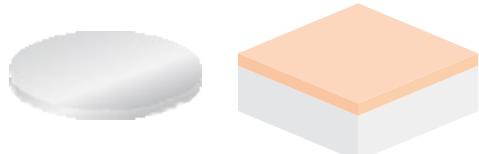


■ 半導体製造工程と当社製品

前工程

基板洗浄／薄膜形成

ウエハ表面の汚れを除去し、酸化膜を形成



当社製品

高純度ケミカル

層間絶縁層形成／フォトレジスト塗布／パターン形成／洗浄／配線形成

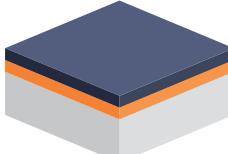


当社製品

高純度ケミカル フォトレジスト

フォトレジスト塗布

ウエハ表面にフォトレジストを均一に塗布

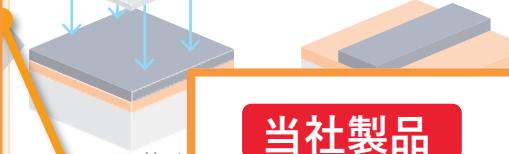


当社製品

フォトレジスト

露光／現像

フォトマスクを通して光を照射
回路パターンを転写



現像液

エッチング／レジスト剥離／洗浄

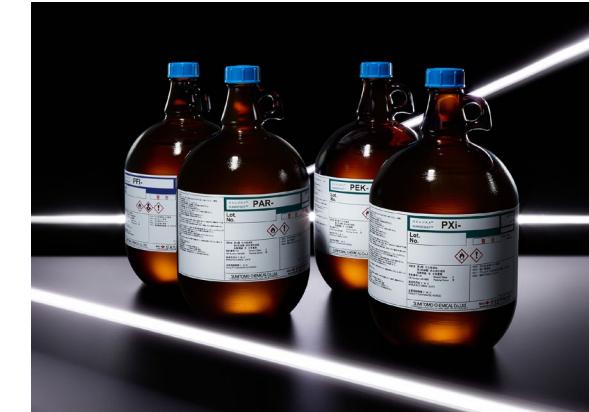
フォトレジストのパターンに沿って
不要な部分を除去



当社製品

フォトレジスト

半導体回路の精密なパターン形成に使われる感光性樹脂。
独自のポリマー技術により、高解像度と高品質を実現。

液浸ArFレジスト
世界トップクラス

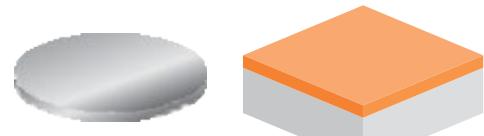
先端レジスト分野での
数量シェア20%
を目指す

半導体製造工程と当社製品

前工程

基板洗浄／薄膜形成

ウェハ表面の汚れを除去し、酸化膜を形成



当社製品

高純度ケミカル

フォトレジスト塗布

ウェハ表面にフォトレジストを均一に塗布

当社製品
高純度ケミカル
フォトレジスト

層間絶縁層形成／フォトレジストパターン形成／洗浄／配線形成

グローバルトップクラスの事業規模
世界トップクラスのプロセス・分析技術を強化



当社製品

高純度ケミカル フォトレジスト

露光／現像

フォトマスクを通して光を照射
回路パターンを転写



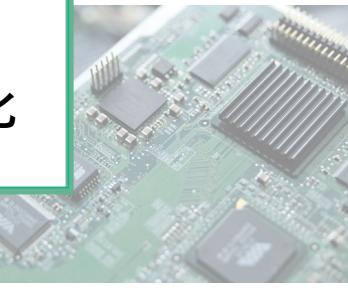
エッチング／レジスト剥離／洗浄

フォトレジストのパターンに沿って
不要な部分を除去



フォトレジストを除去／洗浄

度ケミカル 工程を繰り返し
回路を形成



シリコンウェハから半導体チップ
を切り分け、パッケージング

半導体材料事業の成長戦略

半導体材料（高純度ケミカル）

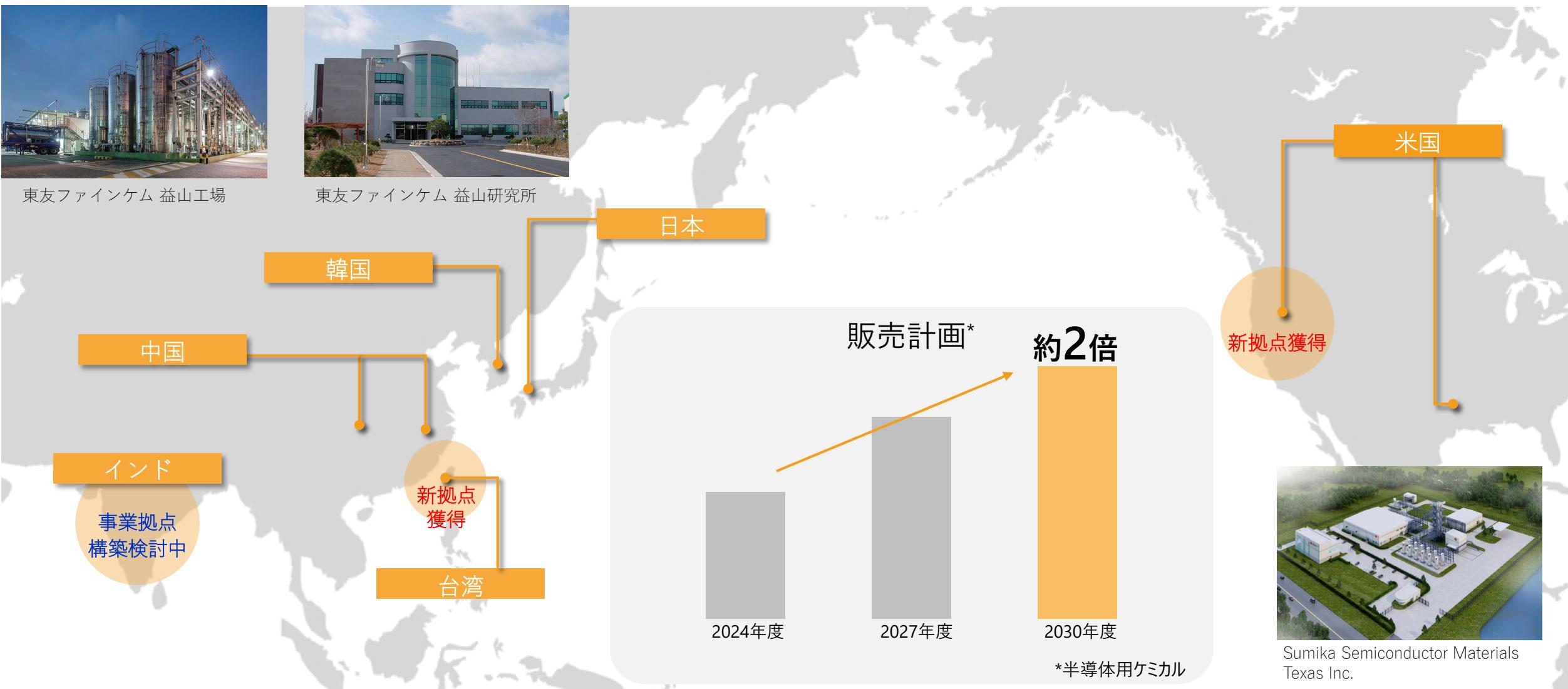
先行投資により供給体制を構築し**グローバルトップクラス**の事業規模を確立



東友ファインケム 益山工場



東友ファインケム 益山研究所



「勝ち筋」 事業への徹底的なこだわりにより、事業ポートフォリオ高度化を推進。

アグロ&ライフ
ソリューション

ICT&モビリティ
ソリューション

アドバンストメディカル
ソリューション

エッセンシャル&
グリーンマテリアルズ

農薬
(ケミカル・バイオラショナル)

半導体材料
先端OLED材料

医薬品CDMO
(高度化低分子医薬・
オリゴ核酸)

再生・細胞医薬

ライセンス・触媒
(低環境負荷事業)

「勝ち筋」 事業

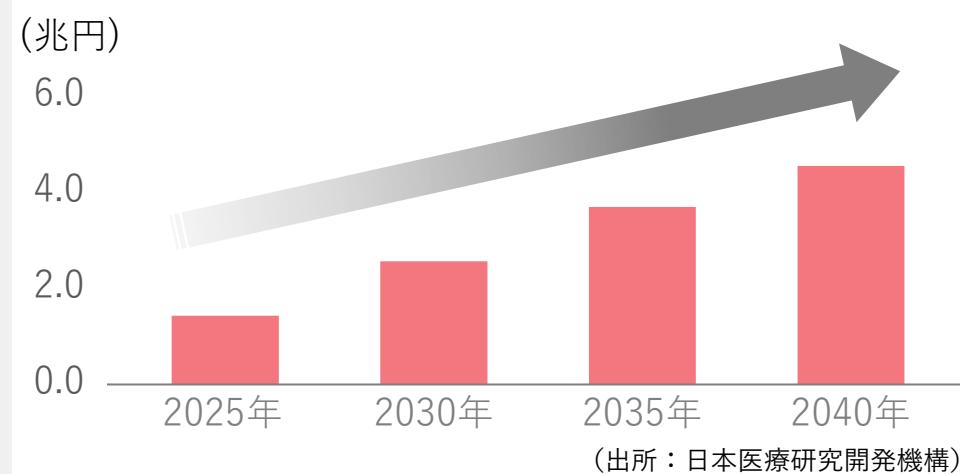
iPS細胞とは？



- ✓ 培養条件下でほぼ無限に増やすことができる
- ✓ ほぼすべての細胞に分化できる

移植医療におけるドナー不足や
倫理課題に対する解決手段

再生・細胞医薬市場

再生医療・細胞医薬（組織移植・細胞移植）
グローバル市場予測

世界的に大きな成長が見込まれる

当社グループのパーキンソン病治療用製品

iPS細胞を用いた
パーキンソン病治療

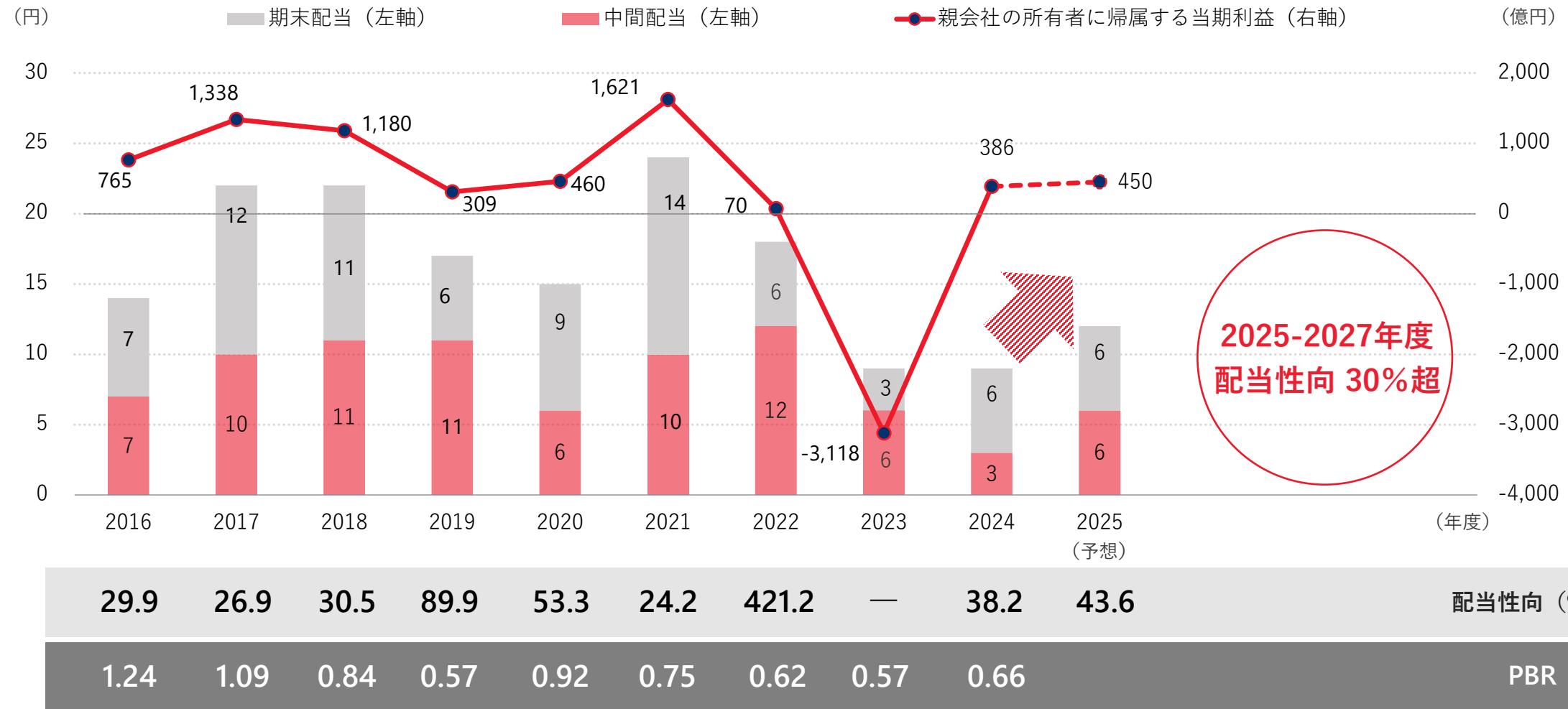
- ✓ 世界初のiPS細胞由来製品上市に向け、日本において、
製造販売承認申請を実施済、**2025年度中の承認取得**を目指す
- ✓ 米国において、医師主導治験1例目の患者へ移植を実施
- ✓ 2030年代に**ブロックバスター(売上1,000億円超)への成長**を期待

Leap Beyond ~成長軌道へ回帰~

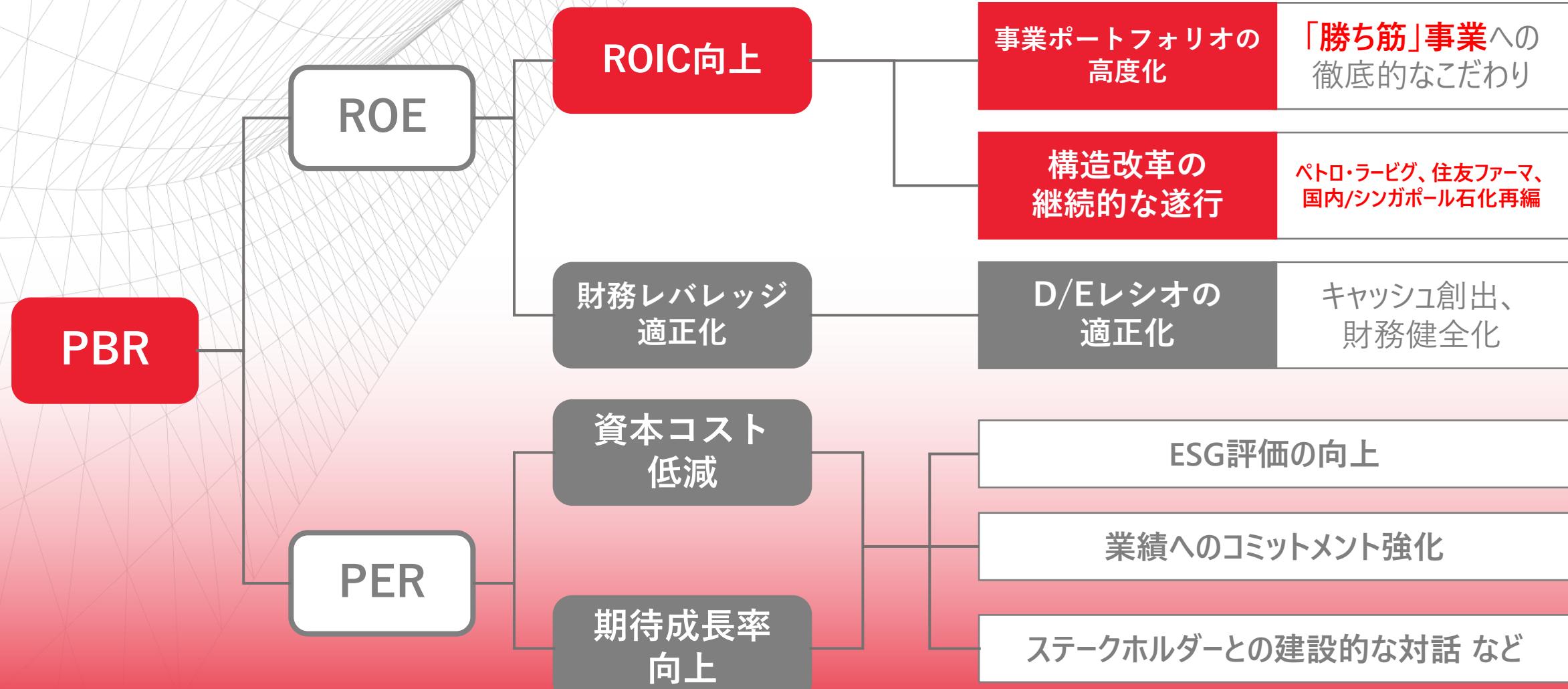
04

終わりに

新中計期間での配当性向は30%超を見込む。将来的に年間24円/株の早期実現を目指す。



資本効率の改善を継続し、中長期的な企業価値向上に取り組む





当社ホームページ

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/>

上部の「株主・投資家情報」より、最新の説明会や
IR情報がご覧いただけます。



個人投資家の皆さんへ

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/individual/>

個人投資家の皆様に役立つ情報を掲載しています。



当社公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/@sumitomochemical_official

コーポレートYouTubeチャンネルを開設しました。
住友化学の最新技術や製品の紹介、企業文化、サステナビリティに
に関する情報など、幅広いコンテンツを配信予定です。



注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおりまます。実際の業績等に重大な影響を与える重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。